

# やはば

議会だより

208  
2019.4.26  
岩手県  
矢巾町議会



スミつけ祭り  
(関連記事…P28)

平成 31 年度目玉事業	
18 歳まで医療費助成を拡大 .....	2
予算審査	
議論白熱 .....	6
町政を問う	
代表質問 4 会派・一般質問 7 議員 .....	14

議会定例会3月会議は2月21日から3月19日までの27日間開催され、条例15議案、平成30年度補正予算7議案、平成31年度予算7議案などを原案のとおり可決しました。

# 目玉事業

## 地域公共交通網の形成



デマンド型タクシー事業  
681万円

## 社会資本の整備



医大関連道路整備事業  
3億6000万円

## 健康寿命の延伸



各種がん検診事業  
3851万円

## 観光物産の振興



ひまわりパーク整備事業  
756万円

平成31年度

18歳まで

# 医療費助成を拡大

## 本年度の

子育て支援



子ども医療費助成事業  
9990万円

農業振興



親元就農給付金事業  
180万円

地域活性化



地域おこし協力隊事業  
2288万円

防災対策の強化

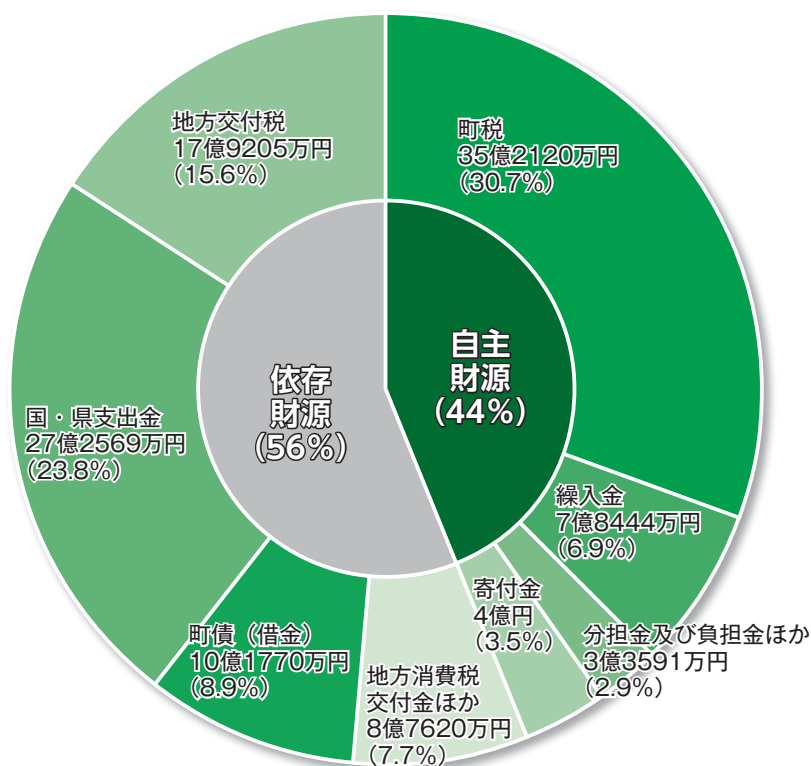


矢次地区排水路整備事業  
3182万円

# 定住促進

3月会議では、一般会計予算は前年度より5億5820万円増の総額114億5320万円となりました。平成31年度一般・特別・企業会計などの予算審議については、予算決算常任委員会で集中審査しました。(関連記事 P6~10)

## 一般会計 歳入【入ってくるお金】



### グラフの用語解説

#### 【歳入】

##### 繰入金

基金からの取り崩し

##### 分担金・負担金

保育料など、特定のサービスを受益する方から徴収するもの

#### 【歳出】

##### 総務費

庁舎、財産等の維持管理等のための経費

##### 民生費

児童や高齢者、障がい者など、福祉のための経費

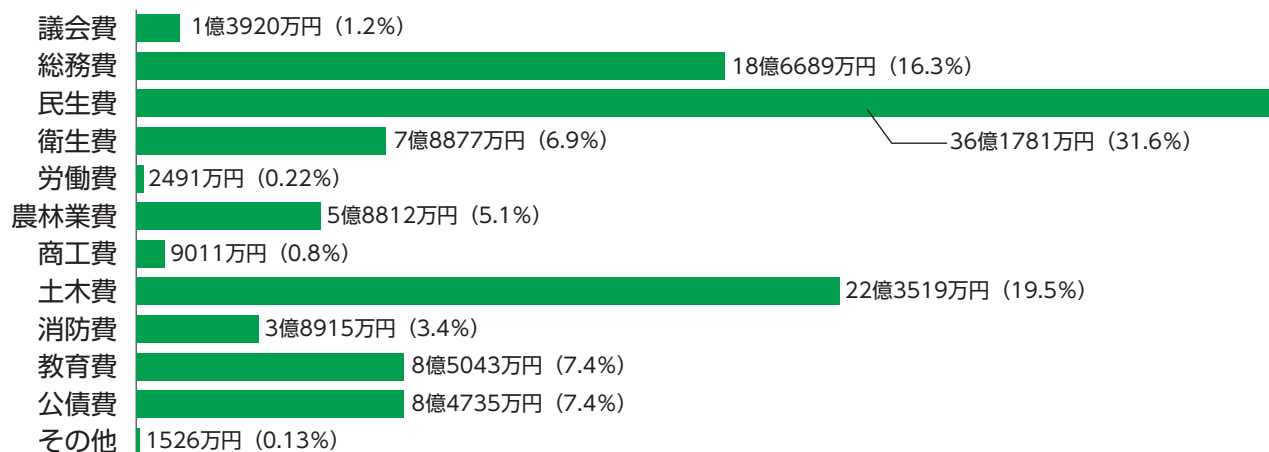
##### 労働費

就労支援などの経費

##### 公債費

借入金の返済に要する経費

## 一般会計 歳出【使うお金】



# 平成31年度予算 子育て支援で

## 特別会計…国保税は6年間の緩和措置

### 国民健康保険事業特別会計

27億9436万円

前年度比  
9.4%増

国民健康保険加入者への医療費や出産育児一時金給付、健康保持や増進を図る特定健康診査や特定保健指導などに取り組みます。

被保険者(5065人)  
1人当たり  
55万1699円

### 介護保険事業特別会計

21億8664万円

前年度比  
2.7%増

要介護区分の認定、介護サービス給付費や介護予防事業を行います。対象は65歳以上の方全員と、40歳以上で要件を満たす方です。

被保険者(6891人)  
1人当たり  
31万7319円

### 後期高齢者医療特別会計

2億48万円

前年度比  
0.2%増

75歳以上の方、65歳以上で一定の障がいがある方を対象に、保険証(被保険者証)の交付や、高額療養費等の申請受付を行います。

被保険者(3233人)  
1人当たり  
6万2010円

### 矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

7億2289万円

前年度比  
12.8%増

土地区画整理事業の残務整理で、換地処分清算金、駅前複合施設の管理委託料の支払いを行います。

町民(2万7354人)  
1人当たり  
3万895円

※1人当たりの金額は、2月末現在の対象者数から算出しました。

## 企業会計…流通センター地域を町に編入

企業会計		収入	支出
水道事業会計	収益的	7億8975万円	5億5200万円
	資本的	2億4576万円	7億6659万円
下水道事業会計	収益的	10億5585万円	10億4102万円
	資本的	2億4997万円	6億9060万円

### 【用語解説】

#### 収益的収入・支出

水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や支出

#### 資本的収入・支出

施設の新設や再整備に使用するための収入や支出

※水道・下水道事業会計は複式簿記により会計処理を行う企業会計であるため、表記の方法が異なります。

# 議論 予算決算 常任委員会 白熱

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（山崎道夫委員長、小川文字子副委員長）で審議しました。

## 一般会計

### 財政

**回答** 2月に外部による検証の会議を実施したところであり、引き続き実行する。

**質問** 予算策定時には事業評価が必要ではないか。

**回答** 事業評価に甘さがあることは認識している。課題が何なのか分析し、対応する。

**質問** フューチャーデザインによる町づくりをどう考えているのか。

**回答** 検討委員会の中で町の将来を見据え考えていきたい。

**質問** デマンドタクシーは交通弱者に配慮し、戸口から戸口への対応をするべきでは。

**回答** 試験運行後に改善を図っていく。

**質問** デマンド型タクシーの説明会やヒアリングの方法は。

**回答** 5カ所で説明会を予定している。その際、足の不自由な人のヒアリングをしたい。

**質問** 子育て世帯の移住・定住促進のため、定住促進住宅をPFIでできないか。

**回答** PFIを含めたような方法で検討していく。

**質問** 若者や単身者用に、旧雇用促進住宅を町営住宅に借り上げできないか。

**回答** 賃貸住宅の借り上げも考えられることから、検討していく。

**質問** さらなる安全安心のまち確保に、分署の消防署昇格が必要では。

**回答** 消防学校の整備計画、近隣消防署の動向を見つつ検討する。

**質問** 消防車の更新計画と消防団員の確保状況はどうなっているか。

**回答** ポンプ車は耐用年数を考えれば毎年更新が必要。団員定数380名に対し323人であり、定員割れ解消に努めている。

**質問** 個人町民税は前年度比3%増の計画である。消費税の増税を控え滞納者がさらに増えることが予想され、難しいのではないか。

**回答** 徴収率が高く前年より税収は増加しており、今年度も増額を見込んでいる。

**質問** 地方交付税が増額となった要因は。

**回答** 国からの普通交付税が7年ぶりに増額となるため。

### 総務・防災

**質問** 地方創生事業はKPI<sup>\*</sup>を用いた検証を実施して、しっかりと総括するべきでは。



賃貸住宅を活用した定住促進の検討を望む  
(旧雇用促進住宅 広宮沢)



更新された消防ポンプ車  
(第1分団第3部)

※KPI：重要業績評価指標



産業まつりでの餅まき

**質問** 消防団員確保のため、企業への要請や団員の店舗利用特典を考へては。

**回答** J Aや(株)ベンに依頼している。利用特典の協力は10店舗あり、さらに拡大に努めていく。

**質問** 平成31年度の春・夏・秋まつりについては、議会に説明なく予算計上されているが、それでよいのか。

**回答** まつりは従来どおりの

内容で協賛金を集め実施する。不足した場合はふるさと納税を活用できるようにする。

議会への説明責任は大事であり、情報共有に努める。

**質問** 職員研修が必要と思うが、その考えは。

**回答** 研修の重要性は認識している。

OJTの実施・県や全国大会などに積極的に参加させ、認識を高めさせたい。

## 産業・建設

**質問** 町長の企業誘致政策は。

**回答** 女性・若者にシフトした企業誘致を重視して、こまめに関係先を訪問及び企業立地の用地確保に努める。

**質問** ゆりは町の花であるが、やまゆりは滅多に見ることができない。ひまわり畑付近に植栽できないか。

**回答** 実現できるように取り組みたい。

**質問** 煙山ひまわりパーク周辺に夜間照明の設置を。

**回答** 周辺にはサクラもある。経費もかかるので、これから検討したい。

**質問** 稲荷街道の松並木を散策できるように整備できないか。

**回答** 観光スポットとして活用したい。

**質問** 生活道路整備が遅れており、30年過ぎてても実現されない場所があるがなぜか。



見かけることが少なくなったやまゆり

**回答** 岩手医科大学附属病院関連道路整備工事が一段落した後、力を注いでいきたい。

## 福祉・環境

**質問** ごみの処理に関して、岩手医大附属病院が移転してくると、ごみの量が増えるのではないか。

**回答** 医大病院からのごみは年間700〜800トンを予想しており、分別等の資源化にしっかりと対応してもらおう。

**質問** 健康チャレンジのための体組成計と血圧計が新たに設置される場所は。

**回答** さわかかハウスに設置するが、外にも持ち出せるような移動式にする予定である。

**質問** 社会福祉協議会の基金の余剰額が莫大である。前年から把握していたのか。

**回答** 現在、基金の額は1億3000万円ほどになっていて把握はしていたが、法の改正により課題となっている。

※OJT：職場内研修

# 徳丹城史跡周辺の活用を

## 教育・文化

**質問** 徳丹城史跡周辺の活用でガイドンス施設の建設が予定されているが、その経緯は。

**回答** 以前の計画では、違う場所に施設を建設する予定であったが、歴史民俗資料館と隣接した場所に駐車場と共に設置することが望ましいと考え変更した。

**質問** 徳丹城史跡周辺活用を2年前に教育民生常任委員会で提案したが、その結果は。

**回答** 考慮していなかったもので、再度資料を見て確認・検討をしたい。

**質問** 就学援助や要保護などに対し、増額を望むがその考えは。

**回答** 国の予算確定を見つつ、対応していきたい。

**質問** いじめの発生した矢巾北中に掲示してある標語に違和感を感じるが、考えは。

**回答** 生徒自ら長年取り組んでいるものであり、標語の持つ意味を理解しつつ、足りない部分は補っていく。

**質問** 学校支援員2名増の内訳と不登校30日の考えは。

**回答** 2名増やすが何に長け



区画整理事業の矢幅駅前周辺

た方が決まっていない状況である。30日の定義は年間を通じて休んだ日数で判断する規定である。

## 特別会計

## 国保・介護

**質問** 国保税が高いので、一

般会計からの繰り入れを増やすべきでは。

**回答** 県一括運営となり6年間の緩和措置を受けている状況で推移を見る。税の公平性から一般会計の繰り入れはできない。

**質問** 要支援の介護予防ケアマネジメント料が要介護に比べて極端に低いのではないか。

**回答** 国で決めた額なので、それに沿っている。

## 区画整理

**質問** 矢幅駅前区画整理事業の返済金の予算が4億円を超えているが、当初の返済計画に変更があったのか。

**回答** 起債総額は約107億円であってはいない。

今年度4億900万円、来年度の返済がピークとなる。



葺き替えされた佐々木家曲り家（徳丹城史跡隣接）



# 審査報告

予算決算常任委員会委員長 山崎 道夫

## 人口3万人目指し宅地や企業の用地確保を

付託された当初予算議案について、次のとおり附帯決議を付して議長へ報告しました。

- ① 人口3万人構想の早期実現を目指し、宅地や企業誘致の用地確保に努められたい。
- ② ふるさと納税を推進し、地域産品の利用による、地域経済の活性化を図られたい。
- ③ 大幅な事業見直しの際には、分かりやすい事前説明を行い明確に示されたい。
- ④ 職員増員と適正配置に努め、職場環境を整備されたい。
- ⑤ デマンド型タクシーは交通弱者に十分配慮し、町民の声を聞き改善を図られたい。
- ⑥ 第7次総合計画前期計画と地方創生事業を評価検証し、公表と事業に反映されたい。
- ⑦ 移住定住促進のPRのためいわて銀河プラザに、町農産物の常時出品をされたい。
- ⑧ 農業情勢が厳しくなる中、担い手育成と水稻に頼らない農業振興を図られたい。
- ⑨ 新たな後継者育成就農事業は継続的に取り組まれない。
- ⑩ 西部地区の観光開発は、総合的な計画立案を早期に進め一体的に取り組まれない。
- ⑪ 生活道路は、優先度に応じ改良工事を進められたい。
- ⑫ 不動産、煙山、徳田小学校のグラウンド整備実現を。
- ⑬ がん検診の受診率向上と、多くの町民が健康チャレンジ事業に参加できる仕組みづくりを。
- ⑭ エン(縁)ジョイやはばネットワーク事業は地域と行政が一体となった取り組みを。
- ⑮ 障がい者がより安全で安心して暮らせるまちづくりを。
- ⑯ 「音楽のまち」「スポーツのまち」にふさわしい予算の継続的配分を。
- ⑰ 通学路の安全対策として、歩道整備と、危険なブロック塀や立ち木の調査実施を。
- ⑱ 流通センター地域が編入されることから、上下水道管渠の強靱化に鋭意努められたい。

## 企業会計

### 上下水道

**質問** 矢幅駅前区画整理事業の精算金を分割支払いする場合は、利息が発生するののか。

**回答** 利息は発生するが、金額は100円未満である。

**質問** 料金公平性の観点で緩和措置は行わない。

**回答** 料金公平性の観点で緩和措置は行わない。事業等組合を継続するのであれば、水道管等の更新に多額の費用が必要となる。そのことから、料金値上げとなることを説明し、住民の理解を得ている。

**質問** 9月に開院する岩手医科大学附属病院への水の供給は十分に足りるののか。

**回答** 病院が開院し水道使用量が増えても、まだ十分に供給できる見込みであり、余裕がある。

**質問** 流通センター事業等組合の解散に伴い上下水道料金が値上げされるが、料金緩和措置は設けないののか。



3月に稼働した東部配水場（矢巾東小北側）

反対 予算作成過程公表を

各種祭りやデマンド型乗合タクシーなどで説明不足の部分が見受けられる。これまで予算の作成過程は公表してこなかった。今後はしっかりと説明をしていくためにも、根本からその決め方などを検証する必要がある。以上のことから、反対する。

昆 秀一

反対 政策実行後は検証を

駅前開発に107億円を要したPFI手法で良かったのか等の検証が行われていない。本町は全般的にその傾向があるが、検証なしに将来を見据えた政策立案はできないのでは。検証後はわかりやすく町民に説明すべきであり、反対する。

小川 文字

反対 弱者に寄り添う町政を

高齢者や一人親家庭が増えており、税金を払えない方が年々増加している。自治体は弱者に寄り添い支援することが求められる。少子化対策として町はさらなる保育料の軽減をすべきと考えることから反対する。

川村 よし子

討論

平成31年度予算

表決に付される前に、その案件に対して6人の議員が反対と賛成の意見を表明しました。

賛成 地域活性化に評価

特産品開発の支援と共に、ふるさと納税の充実に力を入れている。

これは地域経済の活性化につながる。子どもは教育、子どもの福祉を中心とした町の政策の充実につながる。これを評価し賛成する。

水本 淳一

賛成 定住促進対策を評価

各種祭り予算が皆減したが、町民で作る祭りの趣旨は理解した。

定住促進対策は評価し、町営住宅計画と合わせた対策を期待する。教育費はきめ細やかな予算計上をしており、学力向上、音楽・スポーツのまちの予算検証を望み賛成する。

廣田 清実

賛成 多世代型地域包括支援に期待

「2025年問題」に対応し、多世代型地域包括支援体制「エン（縁）ジョイやはばネットワーク」の構築を図るための開設準備金、運営補助金を予算化したことで活発な事業が期待できることから賛成とする。

高橋 安子

みなさんからの請願

▼全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて日米地位協定の見直しを国に求める陳情者  
日米地位協定を見直す会  
共同代表 難波 希美子

▼放課後児童クラブ職員配置基準等の堅持を求める陳情者  
岩手県学童保育連絡協議会  
会長 千田 広幸

全員賛成

採択 審査意見

日米地位協定は、日本国憲法の理念、そして地方自治の根幹をも揺るがしかねない協定である。

その考え方の中には、日本全国どこにでも米軍基地ができる可能性があることになっている。

そんな中、2018年7月に全国知事会において出された「米軍基地負担に関する提言」の主旨は理解できる。

全員賛成

採択 審査意見

放課後児童クラブに配置される放課後児童支援員等の職員の配置等については国が基準を定め、市町村が放課後児童クラブに関する条例を定める際に従うべき基準とされている。

最優先すべきことは児童の安全の確保であり、最低基準として「従うべき基準」が定められたものである。

これを単に放課後児童クラブの人員確保が難しいという理由によって緩和すべきでない、従うべき基準を堅持すべきという主旨は理解できる。

# エアコン設置を夏までに

2月8日に開催された2月会議では、工事委託契約の締結と一般会計の補正予算が議決され、総額は138億1154万円となりました。

## 2月会議

### 補正予算

主な内容は次のとおりです。

#### 主な歳入

▽一般寄附金(ふるさと納税)

5500万円

▽消防ポンプ車購入事業債

△1570万円

#### 主な歳出

▼ふるさと納税事業

4177万円

▼消防ポンプ車購入事業債

△4725万円

#### 消防ポンプ車の更新は

**質問** 消防ポンプ車の貸与は一過性か、継続されるものか。

**回答** 県内に毎年1台が貸与されているが、来年の確約はできない。町としては、年1台の更新は継続していく。

#### YBやはばビールは

**質問** ふるさと納税のYBやはばビールの販売元はどこか。

### 議会で決めたこと

**回答** 製造、販売とも横浜ビールであり、地方創生事業の中での取り組みである。



横浜ビールで製造・販売しているYBやはばビール

#### 反対討論

ふるさと納税は地場産品を取り扱うように総務省から示されている。YBは横浜ビールそのもので町産品は含まれていない。ふるさと納税の再検討をすべきであり反対する。

小川 文子

### 工事委託契約

#### 小中学校の空調設備整備 工事委託契約

国の冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、町内全小中学校に空調設備の整備を(株)エテック岩手支社に6億4260万円で委託するものです。

**質問** 一般競争入札が一般的

であり、プロポーザル方式は特殊である。競争入札が可能な仕組みで行うべきでは。

**回答** 公募は担保されている。参加資格要件は、地元業者共同企業体も可とした。

**質問** ランニングコストの削減はどのような内容か。

**回答** 職員室の集中コントローラーで遠隔操作し制御する。

**質問** 壁掛け型が天吊り型に変更になった理由は。

**回答** 教室が広いため、効率を考え天吊り型に変更した。

**質問** 多額な契約金額であるが、下請け業者の範囲は。

**回答** 町内の資材調達業者は1社・電気工事業者が2社である。

**質問** 機器類、工事費等の契約額の内訳は。

**回答** 設計・施工・統括管理業務があり、機器類は施工業務の4割である。

冷暖房併用型の機種であり、遅くとも7月までに設置する。

# インターネットネットいじめを防げ

3月会議では、人事案件、条例改正と一般会計補正予算、4特別会計補正予算、2企業会計補正予算が議決されました。

## 3月会議

### 人事案件

人権擁護委員の推薦



高橋 裕喜子さん  
(南矢幅7区) 再



秋篠 孝一さん  
(太田) 再

固定資産評価委員の同意

## 補正予算

### 主な歳入

▽法人町民税

5288万円

▽固定資産税

2518万円

### 主な歳出

▼財政調整基金積立

1億5585万円

### 修繕費の内容は

**質問** 共同調理場地下ピット

清掃委託料の内容は何か。

**回答** 不動小学校と共有する

CO2削減工事による電気配線の際に、共同調理場の地下ピット内の管劣化による水漏れを発見し、修繕と清掃が必要になった。

## 審査報告

予算決算常任委員会

施設管理は、通常点検に含まれない箇所についても定期的な点検を実施し、適正な管理に努められたい。

## 条例

### いじめ条例の一部改正

インターネットによるいじめがあった場合、被害にあった児童生徒などがデータの解除を求めたり、加害者に関する情報開示など必要なサポートを行えるようにした。

**質問** 今までにインターネットによるいじめはあったのか。



ネットいじめから子どもを守ろう

**回答** 警察からの通報はないが、全国的に問題となっっていることから、今回改正を行うことにした。

### 福祉医療資金貸付基金 条例一部改正

医療費給付の子どもに係る対象者を、現在15歳であるも

のを、18歳まで拡大するものである。

**質問** 基金を活用した人数と住民への周知方法は。

**回答** 平成27年123件、28年119件、29年106件となっており、周知は改正のつど対象者へお知らせしている。

# 各議案の採決状況

## 平成31年定例会2月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川 和男	川村 よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志
第1号	小中学校空調設備整備工事契約…町内6校にエアコン設置	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	平成30年度一般会計補正予算…約3930万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○

## 平成31年定例会3月会議

諮問第1号	人権擁護委員の推薦…P 12参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	固定資産評価審査委員の同意…P 12参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	地域福祉推進審議会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	森林環境基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	企業立地奨励条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	町立学校通学区域審議会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	税条例改正…国民健康保険税の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	特別職の職員で非常勤のもの報酬等に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	国民健康保険条例改正…運営協議会の委員の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	手数料条例改正…個人番号カード及び個人番号通知カード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準の条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	放課後児童支援員の資格基準の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	いじめ防止条例の改正…インターネット項目に関すること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	南昌グリーンハイツ設置条例の廃止…施設の閉館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	町道路線の廃止…太田川河川改修に伴う路線廃止（室岡地内）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	町道路線の認定…住宅造成地内の道路新設（高田地内）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算…3300万円の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	平成31年度一般会計予算…P 4参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	平成31年度国民健康保険事業特別会計予算…P 5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	平成31年度介護保険事業特別会計予算…P 5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算…P 5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	平成31年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計予算…P 5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	平成31年度水道事業会計予算…P 5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	平成31年度下水道事業会計予算…P 5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	農業ビジョンの変更…国の制度改正等で5年ごとに見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	町道中央1号線道路改良その1工事請負契約の変更…工事量の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号	農地耕作条件改善事業その1工事請負契約の変更…施工面積の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号	福祉医療資金貸付基金条例の改正…対象者の拡大	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	平成30年度一般会計補正予算…約7795万円の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算…約536万円の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算…約611万円の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号	平成30年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号	平成30年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号	平成30年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

# ズバリ 町政を問う

## 代表質問

代表質問とは、会派を代表する議員が施政方針などに対して行う質問です。主に町長施政方針や教育行政方針、当初予算を取り扱う3月会議において実施します。本町議会では、3名以上で構成する交渉会派が行うこととしています。

3月会議では、4会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。

- 一心会 山崎道夫議員 .....P15
  - ①第7次矢巾町総合計画前期基本計画のまとめの年の取り組み
  - ②学校現場における過重労働軽減に向けた取り組み
- 町民の会 廣田清実議員 .....P16
  - ①31年度町長施政方針 ②人口減少問題対策 ③31年度教育行政方針
- 矢巾明進会 長谷川和男議員 .....P17
  - ①消防救急体制の充実 ②県道矢巾停車場線の歩道の安全確保
  - ③(株)ベン岩手工場の製品展示 ④政策顧問、政策秘書
- やまゆり会 藤原由巳議員 .....P18
  - ①平成31年度の施政方針 ②教育行政方針
  - ③北上川及び関連河川水害対策

## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

3月会議では7人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- 村松信一議員 .....P19
  - ①平成31年度施政方針
  - ②平成31年度教育行政方針
  - ③矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略
  - ④矢巾町公共施設等総合管理計画
- 赤丸秀雄議員 .....P20
  - ①町長の施政方針
  - ②教育長の教育行政方針
  - ③デマンド型交通運行
  - ④地域おこし協力隊の今後
  - ⑤小中学校6校のエアコン設置工事
- 昆秀一議員 .....P21
  - ①矢巾農業の未来
  - ②成年後見制度等での権利擁護
  - ③住民自治推進の考えは
  - ④共生社会の実現に向けて
  - ⑤もっと若者が活躍できるまちに
- 小川文子議員 .....P22
  - ①地域公共交通
  - ②保育事業
  - ③若者の単身者の町営住宅への入居
- 藤原梅昭議員 .....P23
  - ①自然災害への「安全・安心」対応
  - ②人的災害への「安全・安心」対応
  - ③交通災害への「安全・安心」対応
  - ④観光産業の振興
  - ⑤職員力を活かした町政
- 川村よし子議員 .....P24
  - ①消費税増税による町民の消費減退
  - ②いじめ防止対策
  - ③高齢者の生活相談対応
- 水本淳一議員 .....P25
  - ①産学官民の連携とふるさと納税の取り組み
  - ②田園ホール開館30周年記念行事

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

本会議の代表質問・一般質問では町長が不在のため、副町長が答弁しました。

# 企業立地と宅地開発は 地区計画等の活用で推進



一心会  
やまざき 山崎 道夫 議員

**質問** 町人口3万人構想の実現に向け、雇用の場の確保と宅地の確保が課題となる。

企業誘致に向けた用地の確保と、宅地開発の見通しについて示されたい。

**副町長** 業務用地としては西部工業団地の隣接地や国道4号沿道を想定している。

民間事業者からの整備開発計画を受けて検討し、地区計画を進めていきたい。

宅地開発については民間事業者から提案を受けて、県と協議を終え平成32年度中に対応が図られるよう、現在県と国が協議を進めている。

**質問** 地区計画を活用して、既存集落を活性化する取り組みは、どのような手順で進め



視察した秋田市のドーム施設内部

ようとしているのか。

**副町長** まずは集落内で住民自ら将来を考え話し合い、ある程度意見がまとまった上で、土地利用に向け地区計画が必要であれば、その支援をしていきたいと考えている。

## 全天候型ドーム の建設実現を

### 民間資本導入

### などを検討

**質問** 新年早々、本町の全天候型ドームの建設実現を民間資本導入などを検討

候型ドームの建設構想が報道されたが、町民にとっては夢と希望を与える朗報である。

今後、実現に向けた取り組みについて考えを示されたい。

**副町長** 全天候型ドームは災害時などにも活用できる複合的な屋内体育施設として検討している。

この構想を第7次総合計画後期基本計画に位置付けられるよう平成31年度は民間資本の導入、事業主体など国や県と検討を進めていきたい。

## 教職員の 働き方改革を

### 決意新たにして

### 取り組む

**質問** 過労死ラインと言われている月80時間を超える残業の実態はあるのか。

**教育長** 平成30年12月までに小学校で2人、中学校で6人となっている。

その要因を分析し、80時間超えをゼロにするために決意新たに取り組んでいく。

# 定住促進住宅で人口対策を 今年度中に検討をする



**町民の会**  
ひろた きよみ  
**廣田 清実 議員**



若年層も住める住宅建設を望む（写真は町営三堤住宅）

代表質問 町政を問う

**質問** 本町の人口増加対策として有効な定住促進住宅を、町に負担のないPFI事業で建設する考えはないか。

**副町長** 子育て世代を対象とした定住促進住宅は有効な政策と捉えており、今年度中に検討する。実施する場合は次

年度からを想定している。事業手法は、町の財政状況から民間手法の活用も含めて、広い視野で検討する。

## 町営住宅の 建て替えは スケジュールを 年内に策定

**質問** 老朽化した町営住宅の建て替えを含めた対策を、今年度「矢巾町住宅マスタープラン」で策定するが、今後のスケジュールは。

**副町長** 岩手県住生活基本計画等の上位計画との整合性を図り、矢巾町町営住宅等計画検討委員会での協議や関係機関との調整を行い、年内の策定に取り組む。

## 定住促進に 学力向上を

### 家庭学習の 充実を図る

**質問** 教育行政方針において、

いじめ問題や児童生徒の学校環境の整備・対策について方針で示されたが、学力向上についても、定住促進等の観点から重要視されるべきでは。

**教育長** 学力向上対策として、授業方法や学びについての考え方を全小中学校で共有することで、一貫した教育に「矢巾型授業スタンダード」を確立して、教職員、保護者の理解を得ながら家庭学習の定着を図りたい。

## 学力向上対策は

### 教員・保護者と 一体で取り組む

**質問** 岩手県の児童は全国で各教科5位から24位であるが、中学生においては17位から46位と学力向上が望まれるが、その対策は。

**教育長** 常に上位の秋田県等の学習要綱などを参考にし、教育委員会・教員・保護者と一体になり学力向上を目指したい。なお、特別支援員及び適応支援員の増員も行う。

※PFI事業とは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営・技術的能力を活用して行う手法





矢巾明進会  
はせがわ かすお  
長谷川 和男 議員

# 矢巾分署を本署に昇格すべき 慎重に見極める必要がある

**質問** 議会の決議を得た第7次町総合計画では、平成31年度に矢巾分署を消防署へ昇格を目指す計画であった。  
このことを重く受け止め、今年度に調査費を計上し来年度には本署昇格を目指すべきではないか。

**副町長** 消防署への昇格検討は、人口増加・消防ポンプ車の増車・緊急搬送の増加・常備消防職員の増員による負担金の増額などを検討している。本町の場合、盛岡南消防署と紫波消防署が隣接しており、現在も災害の際は連携して現場対応を行っており、矢巾分署の昇格時期に係る防災体制の見直しは慎重に見極める必要があると考えている。

## 消防団員確保に 企業の協力を 訪ねて協力を お願いしている

**質問** 団員の確保が年々難しく

いと予測されている。  
安全・安心の町づくりのため、企業社員が心配せず入団し活動するには、雇用側の理解が必要であり、行政として企業の協力を得られる政策が必要ではないか。

**副町長** 従業員の消防団入団



消防署への昇格が望まれる矢巾分署

など、積極的に消防団活動へ協力いただいている事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付している。  
消防団においても企業訪問により、従業員の消防団活動に対するの理解をお願いしている。

## (株)ベンの 製品展示を 公共施設に展示 するよう進める

**質問** 株式会社ベン岩手工場は矢巾町にとって歴史ある誇れる企業である。  
今年度内に製品見本を庁舎、駅インフォメーション等に展示できないか。

**副町長** 矢幅駅多目的ホールや役場一階町民ホールなど、公共施設への展示の実施に向けて製品の借り受けや管理、展示期間などの協議を行っている。  
早期に展示を行うことができればより進めていく。

# 徳丹城跡周辺活性化策は 施設・駐車場の整備を協議



やまゆり会  
ふじわら よしみ  
藤原 由巳 議員



毎年4月に開催している徳丹城春まつり

代表質問 町政を問う

**質問** 史跡周辺整備が進まない中、地元の「徳丹城周辺活性化推進協議会」が将来像を模索しているが、町としての今後の整備について問う。

**教育長** 周辺活性化に向け、ガイダンス施設及び駐車場を佐々木家曲がり家北側に設置

し、併せて一部行われている曲がり家の屋根葺き替えを将来的には全面行いたい。  
徳丹城春まつりは民間活力を最大限生かし開催する。

**矢幅駅に観光案内所設置は**

**案内拠点として開設に取り組む**

**質問** 医大附属病院の開院により交流人口が増加されることから、玄関口の矢幅駅に観光案内所を設置しては。

**副町長** 煙山ひまわりパークと史跡徳丹城跡を本町の2大観光資源と捉えており、その案内拠点として矢幅駅に観光協会事務所と案内所の開設に向け取り組みたい。

**TPPによる本町農業対策は**

**関連補正予算で対応する**

**質問** 昨年末、環太平洋連携

協定（TPP）が発効されたが本町農業への影響をどう捉え、対応にどう取り組むのか。  
**副町長** TPPに伴う県農産物の生産減少額は13億円以上と試算され、本町への影響も大きいと想定されることから、国の補正予算の内容を精査し農業者への対応に努める。

**水害の避難対策は**

**避難マップを地元で作成**

**質問** 近年各地で自然災害が多発しており、本町も水害避難対策のさらなる構築が求められているが、避難行動要支援者を含めたその対策は。

**副町長** 現在約1200人の要支援者がいるが、名簿提出同意者は20%ほどであり、今後条例の制度化も視野に入れ同意者の増加に努める。

防災避難マップ作成は自主防災会を中心に地元住民と共に、作成する方向で各防災関係者と協議を進めたい。



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一 議員**  
(矢巾明進会)

# 野菜栽培に適したほ場整備を 国や県に働きかけ支援

**質問** 優良農地の有効活用  
の面から稲作以外の多品種栽培  
に適した\*フォアスシステムの  
導入によりほ場を整備し、野  
菜や花き等の生産により本町  
の新たな農業体制を構築して  
はどうか。

**副町長** フォアスシステムに  
ついては、町単独支援は難し  
いため国・県に働きかけ支援  
に向け取り組む。

**質問** 現代生活にマッチした  
農産物の栽培を多品目栽培専  
用の農業法人による経営で、  
改善を図る取り組みを推奨し  
てはどうか。

**副町長** 斬新な考えであり、  
今後農業経営のあり方として  
検討していきたい。



ほ場整備地で栽培されているズッキーニ（東徳田）

**質問** ふるさと納税の返礼品  
をなくし、50年後に子孫にメ  
ダルや盾等を送ってはどうか。

**副町長** フューチャーデザイ  
ンとして取り組む第7次総合  
後期計画のワークショップ等  
で紹介したい。

**質問** 空き家とセットで農地  
を取得する下限農地面積要件  
を引き下げ、定住人口増加策  
を考へてはどうか。

**副町長** 法の制限により運用  
はできないが、地域再生法が  
改正される予定であり今後検  
討したい。

## 地方創生の 評価方法は 第三者評価で行う

**質問** 地方創生の総合戦略は  
あと1年で終了するが、現在  
まで実施の事業評価は。

**副町長** 外部第三者で構成の  
有識者懇談会の評価を受ける。

**質問** 事業の中で目標値がな  
いものがあるが、なぜか。

**副町長** 有識者懇談会の開催  
の遅れにより、評価を受けた  
のちの設定となるためである。

**質問** 少子化対策として官製  
婚活に取り組んでいるが、そ  
の実態はどうか。

**副町長** 8回実施し、28組の  
カップルが誕生している。

**質問** 全国では、子どもの貧  
困率が7人に1人と言われて  
いる。本町の実態はどうか。

**副町長** 独自の把握は難しい  
が、医療費助成の拡大や保育  
料の軽減、就学援助制度など  
で支援する。

\*フォアスシステム：地下水位制御システム

# 福祉向上政策の早期実現を 予算に反映させ実現する



あかまる ひでお  
**赤丸 秀雄 議員**  
(一心会)



未来を担う子どもたち (矢巾中学校)

**質問** 施政方針で述べられた内容に、医療費助成を高校生世代まで拡大、団塊世代の後期高齢者対応、出産後の一般健康診査の導入、通学時の安全確保など多岐にわたり取り組むとしていた。早期実現を望むが、その考えは。

**副町長** 来年度予算に反映させており、計画的に早期実現に努めていく。

**質問** 消費税増税後に3歳児以上の保育園と幼稚園の費用が無償化される予定だが、働くお母さんには0歳児からの助成が最も必要ではないか。町の助成に対する考えは。

**副町長** 必要性は認めるが、国の動向を見ながら前向きに検討していく。

## 教育行政方針の骨子は

コミュニティ  
スクールの確立

**質問** 矢巾型コミュニティ・スクール導入とは、具体的にどのような内容か。

**教育長** 導入の際、重要と考えていることは①教育振興運動と連携②小・中一貫型教育の学び③幼児から大学教育である。このことを見据えて、矢巾町の特徴を生かした教育方針を考えたい。

**質問** 町内小中学校の学力向上が望まれるが、どのような取り組みを考えているのか。

**教育長** 学校では児童生徒が学びに頑張っている。学力向上には家庭学習の充実が必要と考える。取り組み方法や内容を具体的に示し、家庭学習の定着に努めたい。

## デマンド型交通 要望の反映は 試験運行を実施し 改善を図る

**質問** 町広報3月号にデマンド型交通の運行スケジュールが掲載された。住民説明会での運行への要望をどう反映させるつもりなのか。

**副町長** 説明会は3、4月に行う予定である。運行への要望の反映は、試験運行を半年程度行い、またヒアリングを並行実施し把握の上、改善を図っていく。

# 若者が活躍できる政策を 若者との接点を増やしていく



こん 昆 秀一 議員  
(一心会)

**質問** 若年層の人口動向をどのように捉え、今後の対策をどう取っていくのか。

**副町長** 平成17年からの5年間は、15〜29歳の転出者が転入者の倍以上となっており、全国の地方都市と同様に転出が多い。

今後、人生の転機にふるさとを思い出して帰って来てくれるような愛着が持てる町としての魅力を高める。

**質問** もっと若者が活躍できるように、若者が主体となった政策を推進すべきでは。

**副町長** 若者が活躍できる政策を取っていくことは、今後必要なものと認識しており、さまざまな事業を通じて若者との接点を増やしていく。



地元での活躍が期待される若者たち（平成30年度成人式）

## 次代の農業へ 支援を

### 新年度から 町独自で支援

**質問** 農業の次代の担い手となる後継者や新規就農者への

支援および、今後の取り組みの見通しを問う。

**副町長** 国庫補助事業には、最高で年150万円を新規就農者に交付できる資金がある。ただ、資金を活用するためには要件がある。

そのため、要件に適合しな

## 成年後見制度 拡充策は

### 広域で成年後見 センターを設置

**質問** 成年後見制度の利用が進んでいないと感じるが、今後の利用促進と拡充策は。

**副町長** 盛岡広域市町で、広域成年後見センターの設置と運営に関する制度を検討中である。

**質問** 後見人の育成は。

**副町長** 平成30年度から市民後見人養成に取り組んでいる。

い希望者に町で年60万円交付する給付金制度を創設する。

**質問** 農業と地域の活性化は非常に大切である。グリーンツーリズムや農業体験などにさらに取り組んではどうか。

**副町長** グリーンツーリズムは現在取り組んでいないが、農業体験は行っており、今後はさらにその取り組みをこまめに行っていきたい。

※成年後見制度：判断能力が低下した認知症の方たちの財産などを守る仕組み

# デマンドタクシーは玄関先まで 停留所で試験運行する



おがわ ふうみ こ  
**小川 文子 議員**  
(日本共産党)



デマンド型タクシー説明会 (高田コミュニティセンター)

**質問** デマンド型タクシーの最も優れている点は、玄関まで送迎ができることだと思う。町の計画は停留所となつていて問題であり、改善すべきと考えるがどうか。

**副町長** 玄関までの送迎が必要な方については福祉および

介護タクシーがあり、役割分担を明確にしながら、試験運行するものである。

約半年程度の運行状況を見て判断し改善していきたい。

**質問** 町内を西と東ルートに分けており、例えば徳田の方は矢巾温泉には行けない。2つに分ける必要はないのではないか。

**副町長** 効率を考え配車した。

**質問** 利用料は大人が500円、子どもが300円、障がい者の方が400円と高く、街中の方にはメリットがないのでは。

**副町長** 街中の方は、医大病院開院を目的に実施するコミュニティバスの利用を想定している。

## 保育所の待機児童は

### 4月にゼロを目指す

**質問** 子育て世代の定住を進める上でも、就労しながら子

育てできる保育環境の整備が必要であると考えるが、今年3月の待機児童数は。

**副町長** ゼロ歳児23人、1歳児10人、2・3・4歳児はそれぞれ1人ずつであるが、4月には待機児童ゼロとなるように調整を図っている。

現在、小規模保育所を含め10カ所の保育園で1085人を預かっている。もう1カ所小規模保育所が開所予定で、認定こども園も2カ所となる。

## 若者の町営住宅入居を

### 単身者住宅を検討

**質問** 多くの若者が非正規雇用で働くなど低賃金の状態にあり、低家賃の住宅を求めている。

若者の町内への定住を進めるために、町営住宅への入居ができないか。

**副町長** 若者単身者の入居は考えていない。子育て世帯対象の定住促進住宅と低所得者向けの単身者住宅を検討する。

# 自然災害への安全安心対応は 一級4河川とも順次改修中



ふじわら  
**藤原** うめあき  
**梅昭** 議員  
(一心会)

**質問** 一級4河川の災害対応状況と、今後の対応計画は。

**副町長** 岩崎川は、矢次公民館付近の改修工事を行っているが、一部埋蔵文化財遺跡が発見され、完了が平成32年度まで遅れる見込みである。

県では、岩崎川を避難判断水位や氾濫危険水位を設定する水位周知河川として指定予定である。

太田川・芋沢川・大白沢川も改修中である。

**質問** 41自治会すべてで組織された自主防災組織の活動は。

**副町長** 岩手県地域防災サポーターの派遣で、講習会や研修会を行っている。

新年度からは、各自主防災会にて地元の皆さんと共に考

え防災マップを作成したい。

**質問** 避難行動要支援者名簿の取り組み状況は。

**副町長** 防災ラジオの取り組みに合わせて登録者の増加を図り、関係団体に対し登録済みの220人について情報を

提供した。

今後は制度周知を継続すると共に、関係条例制定を検討する。

**質問** 外国人への防災対応は。

**副町長** 自主防災組織の外国人避難者への対応力を付ける。



岩崎川復旧工事（六助橋）

町や各自主防災組織が実施する訓練等への参加も呼びかけ、連携しながら取り組む。

**質問** 自然災害の大きな要因である地球温暖化防止策は。

**副町長** 公共施設への太陽光発電システム導入、照明器具のLED化等の対応により、CO2は平成28年度と比べ約2000トン削減になった。

## DVと虐待の対応は

### 県と連携し

### 安全確保する

**質問** DVと虐待の実態と因果関係および対応は。

**副町長** 31年2月現在のDV相談件数は13件、児童虐待通告として本町受理37人、県児童相談所受理は22人、合わせて59人である。

DVが児童に及ぼす影響は大きい。町が通告を受理した場合、速やかに関係課と支援方法や役割分担を決める。

県と連携し児童の安全確保と被害防止に努める。

※DV：ドメスティックバイオレンス

# いじめ相談は別組織で 教職員中心で実施する



かわむらこ  
**川村よし子 議員**  
(日本共産党)

**質問** いじめ防止条例ができ  
てからのいじめ件数はどうか。

**教育長** いじめの定義見直し  
などによって、平成30年度は  
519件となり増加している。

**質問** 条例では学校の責務が  
明記されているが、教員に対  
するどのような研修がされて  
いるか。

**教育長** 教員が、怒りの感情  
と上手に付き合うためのアン  
ガーマネジメント研修とコン  
プライアンス研修を実施し、  
生徒の指導に活用している。

**質問** 大津市では子どもから  
の相談は教育委員会と別の組  
織で行われているが、当町で  
も必要ではないか。



一時的な生活資金を貸し出している町社会福祉協議会

**教育長** いじめの相談は、各  
学校の教職員が中心となり  
行っている。

町独自の取り組みとして、  
教育研究所相談員が各学校を  
訪問し、児童生徒や保護者と  
面談し対応している。

## 消費税増の 影響は

廃業等の影響は  
見られない

**質問** 消費税増税後過去5年

間の町民の消費減退につい  
て、どう認識しているか。

**副町長** 町内の小売業の状況  
は個別の調査は行っていない  
が、経営悪化から廃業に至る  
影響は見られない。

**質問** 福祉施設への消費税増  
税の影響はどうか。

**副町長** 福祉施設について  
は、税率の引き上げに応じて  
報酬改定等行われ、事業に影  
響が出ないよう対応している。

## 高齢者の 生活相談は

個々に合わせて  
支援を実施

**質問** 各保険料や光熱費の支  
払いが大変な方の相談は。

**副町長** 減免制度や生活保護  
申請につなげる。

一時的な生活資金の借り入  
れは、社会福祉協議会で対応  
している。



# 地元産農産物の消費拡大を 6次産業化を支援



みずもと じゅんいち  
**水本 淳一 議員**  
(町民の会)

**質問** 地元農産物の特産品をもっと増やしては。

**副町長** 餅米等も含め6次産業化に取り組む組織と、商工関係にも来年度から助成を始める。

町の特産品を一つでも多く増やす体制を作っていきたい。

**質問** 岩手大学など各機関の協力を得て、地域に適した作物の品種改良を行っては。

**副町長** 大学等の協力が必要であれば、町でも応援したい。

**質問** YBやはばビールが地場産品に認められた経緯は。

**副町長** ビールには地元農産物は含まれないが、「つながるまち やはば」をコンセプトに、企画段階から横浜ビ-

ルとつながりを持ち、進めてきた。

**質問** 今年度のふるさと納税の遣い道に対する要望割合は。

**副町長** 子どもの教育が約17%、子どもの福祉が約9%、自然環境保全及び美化が約12%、高齢者の福祉が約1%で、残りの約61%が用途の指定がない。

## 田園ホール

## 30周年の準備は

## 音楽劇などを

## 検討中

**質問** 来年の田園ホール開館30周年のイベントの内容は。

**教育長** 芸術文化協会を中心に各団体と協議を進めている。第九や、音楽・演劇・踊りを絡めた音楽劇などを検討する。

**質問** 田園ホール利用者の思い出などを集めた記念誌を作成してはどうか。

**教育長** 多くの団体が利用し活動しているので検討したい。



開館30周年を控えて改修中の田園ホール

**質問** 矢幅駅にピアノを置き、自由に弾ける場を作っては。

**教育長** やはばーくなども含め、実現に向け検討したい。

**質問** 田園ホールの命名及びシンボルマークのデザインはどのように決定されたのか。

**教育長** 公募により415作品の中から盛岡市の新田秀子さんの愛称が選ばれた。

シンボルマークは、矢中町・愛称・音響重視の会館のイメージをもとに、町内の中村康彦さん及び川村亮二さんがデザインしたものである。

# ふるさと納税返礼に地場産品の育成を

平成31年定例会3月会議において、総務・産業建設・教育民生の3常任委員会から今任期後半2年間の活動報告が行われました。

## 総務常任委員会

### デマンド型タクシー・町営住宅などの課題を調査

- 1 新しいまちづくり調査研究特別委員会の政策課題
- ① 町有地の活用、町営住宅対策
- ② ウエルネスタウン構想
- 2 交通に関する調査特別委員会の調査課題
- ① 交通弱者対策
- ② バス運行
- ③ さわか号の廃止対策
- ④ 通院・買い物などの弱者対策
- ⑤ 免許返納者対応

### 調査所見

- ・ 地方創生事業は、地場産品の活性化につながる成果が見えてこない。
- ・ ふるさと納税は、増額をもたらしたが、今後地場産品の発掘・育成が課題である。
- ・ 旧町民センター食堂の改修計画は実効性において問題があった。

- ・ 町営住宅は、長期的な視点での建て替え計画が必要である。
- ・ デマンド型タクシーは、町民の声を受け止めて速やかな改善を求める。



ふるさと納税返礼品 岩手県産物

## 産業建設常任委員会

### 産業の活力と環境を高めるまちづくりについて調査

- 1 各関係課の予算概要と主要事業の確認
- 2 各種団体との意見交換による課題の抽出

### 調査所見

- ・ 新しいまちづくり調査特別

- 委員会の政策提言に係る調査課題の検証
- ・ 交通に関する調査特別委員会の調査
- ・ 管外視察研修など
- 以上の委員会活動を積極的に展開し、多岐にわたり関係各課などに要望や提言を実施した。



スマートICを町の活性化につなげる

## 教育民生常任委員会

### 通学路の安全対策などを調査研修

- 1 徳丹城史跡周辺を活用したまちづくり

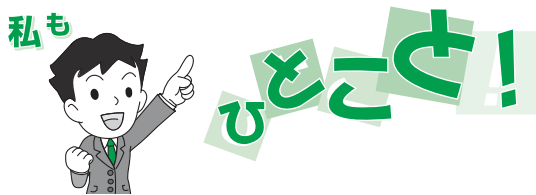
- 2 人口増加に向けた子育て支援
- 3 新しいまちづくりにおける福祉・高齢化対策

### 調査所見

- ・ 学校のトイレ洋式化、認知症カフェ、コンビニでのマイナンバーカードによる住民票等の交付などの進捗状況の確認。交通安全対策の取り組みも確認し、管外視察では関係課職員が同行し、課題の共有ができた。
- ・ 今後も課題を共有し、事業の推進を精査する必要がある。



通学路の安全対策を求める



五日市 洋司さん（新田1区）



議会を傍聴する筆者

## 日々変化する町政に具申を

3月7日、2人の一般質問を傍聴しました。当日は町長が体調不良で不在であり、傍聴者数も少なくちよっぴり残念な気持ちであった。

平成31年度施政方針に対して議員の質問に、各担当課が丁寧な答弁があったものの、再々質問には検討・検証の言葉も多々あり、ちよっぴり寂しい感じがした。しかし議員、職員の間まざる努力も実感できた傍聴であった。

議会だよりでは、町政に対し広い分野にわたり意見・議論されていることが掲載されており、今後も社会変革や日々変化する町政に具申するよう、努めていただきたい。

今回初めての傍聴でしたが、私自身学ぶことも多くあり充実した時間でした。最後に町政へ提言ですが、土地利用に関わる対応は地権者目線で整備を行うよう要望します。

# 町民と町議会との懇談会

2月9日に町公民館で開催した懇談会には、50人の皆さまにご参加いただきました。

今回は女性のつどい終了後に開催したところ、多数の女性の皆さまに参加いただくことができました。懇談会での質疑の一部をご紹介します。

### 駅前の通りの整備を

**質問** 駅から医大に向かう道を素晴らしい通りにしては。

**回答** 医大のフラッグが付く、街灯も点灯されて明るく通りになる予定である。

### パストラルバーデンは

**質問** パストラスバーデンがさびれており、どうにかならないのか。再利用は。

**回答** 所有権が企業へ移ったため、町がかかわることができない。

### 町全体を見てほしい

**質問** 議員は地元だけでなく、足を運んで町全体を見てほしい。

**回答** ご意見を受けて、さらに頑張っていく。

### 南昌山頂上の整備を

**質問** 南昌山登山の際、頂上の見晴らしが悪かった。整備してほしい。

**回答** 観光地としての魅力度が上がるよう、提言していく。

### 煙山ダム周辺の散策

**質問** 煙山ダムの駐車場から城内山に向かう道路は立ち入り禁止なのか。

**回答** 車両の通行規制はあるが、散歩などで通ることに規制はない。

### 西部開拓線の安全対策

**質問** 大型トラックの交通量が多く、死亡事故も発生している。対策はないか。

**回答** 危険であることは認識しているので、町に整備するよう提言している。



女性の参加が多かった今回の懇談会（町公民館）



## 新しく社会人となった

なか くら けい すけ  
**中 倉 佳 祐** さん (高田3区)



### 若者との協力が未来を創る

私が町政に興味を持ったのは中学3年生の頃だ。

当時、大きな問題となっていたいじめに関して議員さんや地域の方々がどの様な考えを持っているのか知りたかったのだ。

何を質問したかは覚えていないが、世間的な関心も強いいじめの問題を扱った懇談会に、20代・30代の参加者が居なかったことは覚えている。

当時の私は、どの町もこんなものだろうと考えていた。高校進学後に放送委員と町などで、地域の活性化に取り組んでいる人々取材するという貴重な経験を得た。

そして矢巾町の在り方について一層考えるようになった。と言うのも矢巾は他の町に比べ若年層が活躍できていないのだ。

例えば紫波町だと学生や自

営業者が中心となって、特産品作りに取り組んでいる。驚くべきことに民間主導による町づくりが行われているのだ。

紫波の強みはオガールなどではなく、民間が主導し町づくりをしている点なのだ。

矢巾町でこのような活動が生まれたいのはなぜか？

「若者は政治に関心が無い」と言われるが、そんなことはない。それを表現する機会が無いだけなのだ。

産技短も高校も中学校もあるのだから、学生と町長や議員が話をする機会を作るだけで、双方にとって有意義な時間ができるはずだ。

町をより発展させたければ未来を創る若者との協力が不可欠になるだろう。

議会には目先の問題だけでなく、より未来を見据えた町づくりを議論して欲しいと切に願う。

### あとがき

4年前から議会だより特別委員会が、広報分科会と広聴分科会からなる広報広聴常任委員会となりました。

広報分科会では、年4回の議会だよりの編集作業に追われる日々でした。

広聴分科会では、年に3回の町民と町議会との懇談会の開催から、その報告書の取りまとめと配布まで行いました。

特に、懇談会は町内ほとんどの地域をこまめに回るなどしてきましたが、その開催方法や場所については、試行錯誤の繰り返しでした。

新しい試みとしては、タブレット端末導入や議会ネットワークを進めてきました。

議会広報モニター制度は、規約は作成したものの実際に動き出すに至りませんでした。

以上、何より町民の方々に對し、議会のことを理解してもらえよう心がけて活動してきた4年間でした。

広報広聴委員長 昆 秀一

### 表紙に寄せて

2月2日に、実相寺でスミつけ祭りが開催されました。町内城内地区に、四百数十年前から伝わる奇祭で、災難除けや無病息災、五穀豊穡を祈りお互いの顔にスミをつけあう祭りです。



### 岩手県町村議会 広報コンクール 奨励賞

平成30年度岩手県町村議会広報コンクールで、「やはば議会だより(204号)」が奨励賞をいただきました。



### 発行・編集責任者

#### 編集委員

- 議長 廣田 光男
- 委員長 昆 秀一
- 副委員長 齊藤 正範
- 委員 赤丸 秀雄
- 水本 淳一
- 小川 文子